



## 校長室 だより

平成30年 3月 23日  
尼崎市立常陽中学校  
校長 小谷 豪郎 No.15

### 新たなスタートへの準備！

3月9日の卒業式を終え、34回生は巣立っていきました。  
1年生2年生の「卒業生を送る歌」も心を込めて、しっかりと歌えたと思います。『合唱の常陽』とたびたび皆さんに紹介してきましたが、先輩たちの取組を代々引き継いできたこの歴史を、君たちも頑張ってお手伝いしてくれているなど、安心しました。

さて、在校生の皆さん、進級おめでとございます。皆さんは小学校や中学校では落第、次の学年に進級できないことなど、あり得ないと思いませんか？

厳密に言うと、校長が平素の成績を評価したうえ、進級が適当でないと認めるときは原級に留め置くことができます。と法律上でも認められていることで、原級留置といって次の学年に進級できないこともあり得るということです。

これは、高校や大学に進学すればもっと厳しくなります。授業に出席していてもテストで一定の点数以上でなければ落第、とか遅刻3回は欠席1回とカウントするとか、1教科でも単位が取れていなかったら次の学年に進級できないとか、中学校では考えられないくらい厳しくなります。

新2年生、3年生の皆さん、次の目標を早く見つけ準備を始めましょう。あと2週間もすれば、新1年生が入学してきます。

中学校への大きな希望と夢を持って、小学校の卒業式で堂々とした姿を見せてくれました。2年生は中堅の学年として、学習面や学校生活、様々な行事や部活動などの場面で先輩としてしっかり手本を示してください。

3年生は、部活の最後の大会へ全力で取り組むと同時に、進路選択についても『文武両道』の精神で、将来に向けた明確な目標を持ち努力してください。

## チーム常陽の進路状況

### 第34回卒業生（139名）

公立高校 101名  
推薦・特色：23名  
複数志願等：62名  
多部・定時・通信制：16名

私立高校 28名  
専願：17名  
併願：11名

専修学校：1名  
家事手伝い：1名

2次募集受検予定  
多部・定時・通信制等：8名



※3月23日現在

## 人生の分かれ道・進路選択

本年度の公立高校の試験結果と高等学校の校長先生に聞いた本音のお話から、皆さんに伝えておきたいことがあります。

① 兵庫方式の受検では、内申点（中学校の5段階評価）と当日の5教科の合計点で判定される。

内申点は、5教科×4+実技4教科×7、5=250点  
当日の5教科の500÷2=250点 合計500点で判断

② 500点で判定するとき1点差の中に受験生は20人程度います。複数志願の第1志望の加算点20点は大きい。

③ 通知表の9教科全て3で、公立高校の合否が分かれる。オール3では安心できません。当日の5教科しだい。

④ 推薦・特色の受検は、面接で自分の熱い思いをどれだけ伝えられるか。発想力を求められるテストに対応できるか小論文を完成させる作文能力があるか。

⑤ 推薦・特色で落ちても一般受検で当日の5教科で頑張れば同じ学校を再挑戦して合格する可能性は十分にある。

⑥ 複数志願の第2志望の選択を慎重に、第2志望校は加算点の20点が無いので当日の5教科勝負

⑦ 旧尼崎学区ではない、第2学区の近隣市町へも進学可能  
本年度の卒業生は、尼崎以外へ33名が進学している。  
【伊丹：22名 西宮：7名 宝塚：2名 川西：2名】

⑧ 入試問題を見ると読解力を必要とし、日頃から文章を読むという習慣の有無で大きな差が付く。さらに、自己表現として作文能力も必要。読書習慣をつけることが力になる。

以上が、参考にしてほしい部分ですが、自分の将来をしっかりと見つめ直し、保護者はもちろん担任の先生と十分に相談し機会があればどんどんオープンスクールや学校見学会等に参加して体験してみることが大切です。

## 情報発信・校門右横の掲示板

本年度は、グラウンド西側のフェンスに校名板とスローガンを掲示し、地域の皆さんに生徒や学校の取組を理解していただき、今後も地域とともに成長して行く常陽中学校を目指していきますので、応援よろしくをお願いします。

その一環でもないですが、校門右横に設置された掲示板が、あまり活用できていなかったため、これからは地域の皆様への情報発信として活用するような取組を進めていきたいと思い、今は、「今月のことば」を掲示していますが、今後は学校からの様々な情報を提供させていただきます。

### 【今月の言葉】

『 朝は、希望に起き  
 昼は、努力に生き  
 夜は、感謝に眠る 』

新学年、目標を持ち 充実した毎日を過ごそう！